

株式会社 石野製作所

[業種] 業務用機械器具製造業

事業
計画名

オートウェイターの生産量大幅拡大の
ための生産プロセスの改善

- ◆代表者名 代表取締役社長 石野 晴紀
- ◆設立年月日 昭和37年4月2日
- ◆所在地 〒921-8025
石川県金沢市増泉5丁目10番48号
- ◆TEL 076-241-7185
- ◆FAX 076-241-7551
- ◆URL <https://ishino-group.com>
- ◆E-mail soumu@isn-net.com
- ◆従業員数 147人
- ◆資本金額 50,000千円



導入機械装置「レーザー加工機 LC-1212 α V」

事業に取り組んだ経緯・背景

当社は主に、回転寿司店舗向け寿司コンベアや注文品搬送装置「オートウェイター」（以下 AW）等を生産している。事業実施当時、外食産業は深刻な人手不足により AW 需要が高まっていたため、回転寿司のみならずラーメン店や焼き肉店等、様々な外食業種からの需要があった。AW は、少ない人員で店舗運営できる非常に魅力的な機械として高い評価をいただいていた。しかし、AW の部品は種類・数量が多く、形状も複雑なため機械加工に時間を要したため、今後予想される受注に対応していくには現状の生産プロセスでは限界があった。

事業内容

- ・現行生産プロセスの課題
AW の部品は板金製作が多く、小さなセンサーブラケットから客席側ユニットベースのような大きなものまで多様である。それぞれの部品には固定のための長穴やタップの下穴が数多く、複雑な形状もあるので、それぞれの加工機械の場所へ移動して行っている。従って移動時間や段取りに多くの時間がかかり、また加工した部品を別工場へ運んで組み立てる際にも時間ロスが発生していた。
- ・課題の解決方法
目的
川北工場を AW 生産の専用工場とし、生産から出荷まで一元化することにより生産性を向上さ

せ、生産コスト面での競争力強化を図った。
手段
上記目的を達成するために川北工場に新たにレーザー切断機を導入し、AW の部品生産を行い、加工時間を大幅に減らしていく。導入したレーザー切断機は複雑な形状の切断・穴あけ・切り欠きの能力に優れており、一か所で多くの加工を完了させることができた。また、レーザーによる切断時間は現行の切断より大幅な時間削減となった。部品製作から組立・出荷まで一元化することで、これまでの工場間の運搬が不要になった。

事業の成果

- ・一つの工場で生産を一元化することにより、工場間の部品搬送・組立品搬送の必要がなく、リードタイムが短くなることで競争力強化を実現できた。
- ・図面情報のデータ化の結果、情報伝達のスピードアップおよびレーザー切断加工機へのデータ入力も容易になり、大幅な作業時間短縮ができた。
- ・当社 AW は省力化機器として継続して高い評価を受け、人手不足の外食産業より強く求められるようになり、今後の進展が期待できる。

事業の現在の状況

- ・現在も川北工場ではレーザー切断機を使用しており、AW 製作にはなくてはならない生産機械となって稼働している。



オートウェイター



株式会社石野製作所 松任工場



石野グループ営業所

[得意分野]

回転寿司コンベア及び周辺機器

[主要取引先]

あきんどスシロー、ゼンショーホールディングス、カッパクリエイト

[商品]

寿司コンベアシステム、周辺機器（寿司握り機、皿洗浄機等）、焼成機（ガス、遠赤外線）製造、食品加工機械の製造（温泉卵の製造装置等）

[代表者からの一言]

食に対するニーズはますます多様化しています。石野グループでは、創業から続く愚直なものづくりの志に半世紀を超えて蓄積されたノウハウを重ね、お客様とともに新たな価値に挑戦していきます。



代表取締役社長 石野 晴紀